

2030

男性用・女性用 化粧水ボトル

A Moisturizer Bottle for Men and Women

AD 36 桃井 彩衣
指導教員 島津 豊

1.研究目的

○最近男性でもファッションや美容に興味を持つ人が増える傾向にあり、男性用の化粧品も出始めた。
○まだ出始めた段階なので、改良点などあるのではないかと考え、改めて男性向け・女性向けのデザインのイメージを比較し、今回はそれを化粧水のボトルという形で表現してみることにした。

2.調査と分析

まず形から受ける印象について、アンケート調査で単純な形から男女どちらのイメージが強いかを調べたところ、右の表のような結果が出た。

	1	2	3	4	5	6
男性	□	▽	△	◇	0	○
女性	○	0	△	◇	▽	□

全体的に見て、男性的な印象を受ける形には角ばった形のものが多く、女性的な印象を受ける形は丸く滑らかな形のものが多いことがわかった。

現在市場で販売されている化粧水ボトルのイメージを調査したところ、下記のようなものが挙がった。

男性：鉱物的、力強い、単純、清潔感・クール、
ごつい、シャープ、濃い・暗い色、寒色系、
女性：滑らか・曲線的、やさしい・華やか、しっとり、
ソフト、薄い・明るい色、(主に)暖色系

化粧水は女性の場合殆どの方が使用しているのに対し、男性ではむしろ使用しているの方が少なく、市場の商品を調査してみるとその数も女性用と比べて著しく少ない。又、その中には「ヒゲ剃り後のケアに」というような用途のものも含まれているので、あまり若者向けではないようなデザインが多く見られた。

女性用の化粧水は種類が豊富で、又それぞれの対象の年齢層に対してデザイン傾向の大きな違いが感じられた。大雑把にいうと、若い年齢層はかわいい感じ、大人になるにつれて高級感のあるデザインのものも出てきて、さらに40代周辺へくるとナチュラル系でやさしい印象のものが増えてくる。

3.コンセプトの立案

年齢層によって傾向が大きく変わってきてしまうので、今回は20代周辺の若い年齢層をターゲットに絞ることにした。

- 男性向け、女性向けと一目でわかる
- 若い年齢層の求めるデザイン
- 実際使用する際にも使い易い形

4.デザイン展開

○女性用と男性用の特徴を比較し易いようにするため、ある会社がひとつのシリーズの中で出した製品という設定で制作する。

○ボトルは回転体の形が多く、実際その美しさや作る上での効率の良さを考えて、今回のモデルは円柱状の素材を旋盤等で削っていく方法で作ることにした。

○男性用は最初角張った多面体のような形を考えていたが、製作していく上での効率を考え、ひとつの回転体の形を作ってから更に面を削っていくような形状にした。

○ひとつのシリーズとして考える為、容積はほぼ同じになるように調整して設計した。

○後でラベル等を貼ることなどを考えて、貼りやすい平面を考慮した形にした。

○男性用は逞しさ、清潔感、クールなイメージを、女性用は華やかさ、色っぽさ、しっとり感のイメージを意識して設計した。

5.完成図



6.結論

最初形の容姿だけを意識してデザインの考案をしていたが、実際に生産していく上では製作の効率の良さも大切なんだと改めて実感させられた。

また、二つのシリーズ性が感じにくい、男性用のボトルは置くとき下が不安定になりやすい、等という意見もあったので、まだ改良すべき部分がある。

7.参考文献